

令和5年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

「コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備」

ニューノーマルにおける外国人留学生の戦略的受入れ体制（京都おこしやすモデル）の構築

成果報告書

令和6年2月

一般社団法人京都府専修学校各種学校協会



KYOTO
Vocational Schools
Network

目次

1. 事業概要	
1. 1－事業の趣旨・目的	P 3
1. 2－実施体制	P 3
1. 3－全体スケジュール	P 4
1. 4－構成機関・構成員等	P 5
2. 事業成果について	
2. 1. 1－会議体について	P 7
2. 2. 1－（入学前）多言語Webサイトの更新、SNSの運用	P 1 2
2. 2. 2－（入学前）多言語留学パンフレットの制作（京都100の理由）	P 1 3
2. 2. 3－（入学前）オンライン留学フェアへの参加	P 1 3
2. 2. 4－（入学前）動画の制作	P 1 3
2. 2. 5－（入学前）「京都留学アプリ」のバージョンアップ	P 1 4
2. 3. 1－（在学中 教育指導）遠隔教育システムの構築	P 1 4
2. 4. 1－（在学中 在籍管理・生活支援）各種生活サポート体制の整備	P 1 5
2. 4. 2－（在学中 在籍管理・生活支援）留学生教育交流会の実施（宮津）	P 1 7
2. 4. 3－（在学中 在籍管理・生活支援）留学生フェアの実施	P 1 7
2. 4. 4－（在学中 在籍管理・生活支援）京都食文化教育事業の実施	P 1 8
2. 4. 5－（在学中 在籍管理・生活支援）京都生活文化教育事業の実施	P 1 9
2. 5. 1－（調査研究関係）先行事例調査（東京、大分、北海道、沖縄、宮城）	P 2 0
2. 5. 2－（調査研究関係）現地視察・教育交流（マレーシア・シンガポール）	P 2 1
3. 次年度に向けて	P 2 2

1. 事業概要

1. 1-事業の趣旨・目的

京都府下においては、日本語教育機関の新規開設や高等教育機関と日本語学校の連携強化等が図られ、近年専修学校の留学生数は2016年の357人に対し、2021年は972人と大きく増加している（留学生スタディ京都ネットワーク調べ）。しかしながら、京都府下の大学院・学部・短期大学・高等専門学校は、2021年で11,075人と、日本全体の8.6%

(11,075/129,258人)を占める一方で、京都府下専修学校の留学生は1.4% (972/70,268人)と低い。また、大学コンソーシアム京都「Kyo Tomorrow Academy」では、留学生に、京都を学び、地元産業を深く理解し、地元企業を志向するプロセスを提供する就職支援・交流コミュニティも立ち上げられているが、京都府下専修学校の取り組みは各専修学校によって状況が異なる。

身近で日本の文化・歴史に触れられたり、山紫水明の地、京都は、外国人留学生が職業教育を学ぶにも絶好のロケーションと考えられ、学校運営や教育の実践、学校教育の中核としての役割を果たす教員を対象に、職務に関する教員研修会を実施する等、資質・能力の育成を図ることで、きめ細かな教育の提供を行うなど、これまで多様な学習ニーズに応じたきめ細かな教育（例えば学校運営や教育の実践、学校教育の中核としての役割を果たす教員を対象に、職務に関する教員研修会を実施する等、資質・能力を育成）の提供を行ってきた京都の専修学校への留学は魅力が大きいと確信する。

当事業では、オール京都でニューノーマルにおける外国人留学生の戦略的受入れ体制（京都おこしやすモデル）を構築し、留学生が京都で生活する中で、京都ならではの文化・芸術等に触れ親しみ、「日本で学ぶ、京都で学ぶ」動機付けを行う機会を提供するため、各学校・企業、公的機関等と連携しながら、留学生にとって魅力的な環境づくりを推進する。また、訪日前遠隔教育システムやトータル支援パッケージは、専修学校に特化した内容で取り組むとともに、長期化するコロナ禍や新たな危機にも備えられる、持続可能な仕組みを構築することをめざす。

1. 2-実施体制

事業運営委員会、事業推進委員会、産学公連携グローバル推進委員会を有機的に連動させ、プロジェクトを推進した。各委員会の個別の役割は以下の通りとした。

①事業運営委員会（年3回）

本事業の進捗を確認し、事業推進委員会等で行っている各種プロジェクトに対する意見提言を行う。

②事業推進委員会（年9回）

事業計画策定、進捗管理、予算管理等プロジェクト全般の運営・管理を行い、プロジェクトを具体的に推進する。

③産学公連携グローバル推進委員会（年1回）

京都で学ぶ留学生の増加やスキルアップ、満足度、キャリアサポートの推進に向けて、外部有識者を交えて意見交換、協議を行う。

1. 3ー全体スケジュール※期間：令和5年6月～令和6年2月

a. 会議体について

- ①事業運営委員会の開催(9/6、12/1、2/9)
- ②事業推進委員会の開催(6/29、7/26、9/1、9/27、10/25、11/14、12/12、1/16、2/14)
- ③産学公連携グローバル推進委員会の開催(1/16)

b. プロジェクト概要

当プロジェクトでは、オール京都でニューノーマルにおける外国人留学生の戦略的受入れ体制（京都おこしやすモデル）を構築し、留学生が京都で生活する中で、京都ならではの文化・芸術等に触れ親しみ、「日本で学ぶ、京都で学ぶ」動機付けを行う機会を提供するため、各学校・企業、公的機関等と連携しながら、留学生にとって魅力的な環境づくりを推進した。

訪日前遠隔教育システムやトータル支援パッケージは、専修学校に特化した内容で取り組むとともに、デジタルを活用するなど、長期化するコロナ禍や新たな危機にも備えられる、持続可能な仕組みを構築した。令和5年度については、特に以下の3点に注力して取り組んだ。

- ①京都に住み、学び、働く魅力発信強化（Web、SNS、動画・パンフレット制作）
- ②留学生雇用機運醸成に向けたセミナー開催（勉強会、成果報告会）
- ③京都食文化・生活文化教育事業

【プロジェクト項目】

入学前	①多言語 Web サイトの更新
	②多言語留学パンフレットの制作
	③オンライン留学フェアへの参画
	④SNS および動画共有プラットフォームの活用
	⑤オンラインセミナー／ウェビナーの開催
	⑥「京都留学アプリ」の開発とバージョンアップ
	⑦メタバース空間の創出と運用
在学中（教育指導）	①訪日前遠隔教育システムの構築と運用
	②日本国内短期日本語教育プログラムの活用
在学中（在籍管理・生活支援）	①各種生活サポート体制の整備
	②「京都留学アプリ」を活用した各種サポートの展開
	③留学生教育交流会等のイベント実施
	④留学生フェアの実施
	⑤京都食文化教育事業の実施
	⑥京都生活文化教育事業の実施
就職支援	①就職支援
	②企業とのマッチング体制の構築
	③幅広い進路の開拓および進路支援体制の構築
	④卒業後の日本企業における定着支援
	⑤企業の外国人材受け入れ促進の支援
調査研究関係	①先行事例の調査

プロジェクトに関する協力体制やそれぞれの具体的な成果については後述。

1. 4 - 構成機関・構成員等（令和5年度）

（1）事業運営委員会

	所属	氏名	役割
1	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 会長	田中 誠二	委員長
2	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 副会長	三田 清栄	副委員長
3	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 副会長	加藤 俊明	副委員長
4	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 理事	竹本 雅信	委員
5	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 理事	太田 賢	委員
6	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 理事	影山 弘典	委員
7	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 理事	木原 茂弘	委員
8	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 理事	奥山 勉	委員
9	京都調理師専門学校	田中 幹人	委員
10	京都ホテル観光ブライダル専門学校	作岡 友樹	委員
11	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 事務局	山内 晴子	委員

（2）事業推進委員会

	所属	氏名	役割
1	京都仏眼鍼灸理療専門学校	棟居 清峰	委員
2	京都理容美容専修学校	山本 強	委員
3	京都医健専門学校	八島 由佳子	委員
4	京都コンピュータ学院	西村 祐二郎	委員
5	京都 YMCA 国際福祉専門学校	阿部 和博	委員
6	京都栄養医療専門学校	高橋 周二	委員
7	京都調理師専門学校	田中 幹人	委員長
8	京都調理師専門学校	池田 隆二	委員
9	京都製菓製パン技術専門学校	尾形 詩織	委員
10	京都ホテル観光ブライダル専門学校	作岡 友樹	副委員長
11	京都ホテル観光ブライダル専門学校	長田 理佳子	委員
12	京都ホテル観光ブライダル専門学校	モレル トリアン シル	委員
13	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 事務局	山内 晴子	委員

（3）産学公連携グローバル推進委員会

①教育機関

	氏名	所属	役割
1	棟居 清峰	京都仏眼鍼灸理療専門学校	委員
2	山本 強	京都理容美容専修学校	委員
3	八島 由佳子	京都医健専門学校	委員
4	西村 祐二郎	京都コンピュータ学院	委員
5	阿部 和博	京都 YMCA 国際福祉専門学校	委員

6	高橋 周二	京都栄養医療専門学校	委員
7	田中 幹人	京都調理師専門学校	委員長
8	池田 隆二	京都調理師専門学校	委員
9	尾形 詩織	京都製菓製パン技術専門学校	委員
10	作岡 友樹	京都ホテル観光ブライダル専門学校	副委員長
11	長田 理佳子	京都ホテル観光ブライダル専門学校	委員
12	モレル トリアン シル	京都ホテル観光ブライダル専門学校	委員
13	井尾 美穂	ISI ランゲージスクール	委員
14	近藤 和行	京進ランゲージアカデミー	委員
15	大元 守	西安外国語大学	委員
16	周 莉	青島酒店管理職業技術学院	委員
17	福村 志郎	PT. JELLYFISH EDUCATION INDONESIA	委員
18	Verawati	PT. COKRO PANGUKIR CAHAYA (Coach)	委員
19	NGUYEN VAN Hao	ドンドー日本語センター	委員

②企業・団体

氏名		所属・職名	役割
1	山内 晴子	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 事務局	委員
2	室野 拓	留学生スタディ京都ネットワーク事務局長	委員
3	行元 沙弥	NPO 法人グローバル人材開発センター代表理事	委員
4	北田 亮介	株式会社 FREEMIND 取締役	委員
5	林 亮太	株式会社共立メンテナンス 寮事業本部京都支店長	委員
6	余田 泰洋	株式会社ジェイオフィス代表取締役社長	委員
7	川崎 敏矢	TERAFUL 代表	委員

③行政機関

氏名		所属・職名	役割
1	山本 隆裕	京都府国際課 参事	委員
2	四辻 清美	公益社団法人京都府観光連盟 専務理事	委員

④オブザーバー

氏名		所属・職名
1	川本 一範	京都市 総合企画局総合政策室大学政策担当 留学生支援・大学連携推進 担当

2. 事業成果について

2. 1. 1-会議体について

a. 事業運営委員会

第1回日時：2023年9月6日（水）16：00～17：00

参加者：11名

議題：報告事項1. 今年度の取り組み進捗状況について（説明20分、質疑10分）

協議事項1. 次年度の取り組み方向性について（説明5分、協議20分）

第2回日時：2023年12月1日（金）16：00～17：00

参加者：11名

議題：協議事項1. 次年度の取り組み方向性について（説明10分、協議15分）

審議事項1. 海外対応の補正予算について（説明10分、審議15分）

第3回日時：2024年2月9日（金）16：00～17：00

参加者：11名

議題：審議事項1. 次年度の取り組み方向性について（説明20分、協議35分）

b. 事業推進委員会



1回目日時：2023年06月29日（木）10：00～11：00

参加者：12名

議題：1. 今年度の事業について

- (1) 動画共有プラットフォームの活用
- (2) SNS運用（twitter / instagram）
- (3) 京都で学び働く100の理由パンフ（仮称）
- (4) 専門学校教職員および事業所向け勉強会
- (5) 留学生交流会（宮津）
- (6) 留学生フェア
- (7) 京都食文化教育事業
- (8) 京都生活文化教育事業
- (9) 先行事例の調査

2回目日時：2023年07月26日（水）13:00～14:00

参加者：13名

議題：1. 今年度の事業について

- (1) 多言語 Web サイトの更新
- (2) オンライン留学フェアへの参加
- (3) 日本語学習アプリの利用
- (4) 動画共有プラットフォームの活用
- (5) SNS 運用 (twitter / instagram)
- (6) 京都で住み学び働く 100 の理由パンフ (仮称)
- (7) 専門学校教職員および事業所向け勉強会
- (8) 留学生教育交流会 (宮津)
- (9) 留学生フェア
- (10) 京都食文化教育事業
- (11) 京都生活文化教育事業
- (12) 先行事例の調査

3回目日時：2023年9月1日（金）10:00～11:00

参加者：13名

議題：1. 今年度の事業について

- (1) 多言語 Web サイトの更新
- (2) オンライン留学フェアへの参加
- (3) 日本語学習アプリの利用
- (4) 動画共有プラットフォームの活用
- (5) SNS 運用 (twitter / instagram)
- (6) 京都で住み学び働く 100 の理由パンフ (仮称)
- (7) 専門学校教職員および事業所向け勉強会
- (8) 留学生教育交流会 (宮津)
- (9) 留学生フェア
- (10) 京都食文化教育事業
- (11) 京都生活文化教育事業
- (12) 先行事例の調査

4回目日時：2023年9月27日（水）11:00～12:00

参加者：13名

議題：1. 今年度の事業について

- (1) 多言語 Web サイトの更新
- (2) オンライン留学フェアへの参加
- (3) 日本語学習アプリの利用
- (4) 動画共有プラットフォームの活用
- (5) SNS 運用 (twitter / instagram)

- (6) 京都で住み学び働く 100 の理由パンフ (仮称)
- (7) 専門学校教職員および事業所向け勉強会
- (8) 留学生教育交流会 (宮津)
- (9) 留学生フェア
- (10) 京都食文化教育事業
- (11) 京都生活文化教育事業
- (12) 先行事例の調査

5回目日時：2023年10月25日(水) 15:00～16:00

参加者：12名

議題：1. 今年度の事業について

- (1) 多言語 Web サイトの更新
- (2) オンライン留学フェアへの参加
- (3) 日本語学習アプリの利用
- (4) 動画共有プラットフォームの活用
- (5) SNS 運用 (twitter / instagram)
- (6) 京都で住み学び働く 100 の理由パンフ (仮称)
- (7) 専門学校教職員および事業所向け勉強会
- (8) 留学生教育交流会 (宮津)
- (9) 留学生フェア
- (10) 京都食文化教育事業
- (11) 京都生活文化教育事業
- (12) 先行事例の調査

6回目日時：2023年11月14日(火) 11:00～12:00

参加者：12名

議題：1. 今年度の事業について

- (1) 多言語 Web サイト
- (2) オンライン留学フェア
- (3) 日本語学習アプリ
- (4) 動画共有プラットフォーム
- (5) SNS 運用 (twitter / instagram)
- (6) 京都で住み学び働く 100 の理由パンフ
- (7) 専門学校教職員および事業所向け勉強会
- (8) 成果報告シンポジウム
- (9) 留学生フェア
- (10) 京都食文化教育事業
- (11) 京都生活文化教育事業
- (12) 先行事例調査

7回目日時：2023年12月12日（火）15:00～16:00

参加者：12名

議題：1. 今年度の事業について

- (1) 多言語 Web サイト
- (2) オンライン留学フェア
- (3) 日本語学習アプリ
- (4) 動画共有プラットフォーム
- (5) SNS 運用 (twitter / instagram)
- (6) 京都で住み学び働く 100 の理由パンフ
- (7) 専門学校教職員および事業所向け勉強会
- (8) 成果報告シンポジウム
- (9) 留学生フェア
- (10) 京都食文化教育事業
- (11) 京都生活文化教育事業
- (12) 先行事例調査

2. 次年度の取り組みについて

8回目日時：2024年1月16日（火）15:00～16:00

参加者：11名

議題：1. 今年度の事業について

- (1) 多言語 Web サイト
- (2) オンライン留学フェア
- (3) 日本語学習アプリ
- (4) 動画共有プラットフォーム
- (5) SNS 運用 (twitter / instagram)
- (6) 京都で住み学び働く 100 の理由パンフ
- (7) 専門学校教職員および事業所向け勉強会
- (8) 成果報告シンポジウム
- (9) 留学生フェア
- (10) 京都食文化教育事業
- (11) 京都生活文化教育事業
- (12) 先行事例調査

2. 次年度の取り組みについて

9回目日時：2024年02月14日（水）13:00～14:00

参加者：11名

議題：1. 今年度の事業について

2. 次年度の取り組みについて

c. 産学公連携グローバル推進委員会



日時：2024年1月16日（火）16：00～17：00

参加者：22名

議題：報告事項1. 今年度の取り組み進捗状況について（説明20分、質疑10分）

- (1) 多言語 Web サイトの更新
- (2) オンライン留学フェアへの参加
- (3) 日本語学習アプリの利用
- (4) 動画の制作
- (5) SNS の運用
- (6) パンフレットの制作
- (7) 専門学校教職員および事業所向け勉強会の開催
- (8) 留学生教育交流会の開催
- (9) 留学生フェアの開催
- (10) 京都食文化教育事業の開催
- (11) 京都生活文化教育事業の開催
- (12) 先行事例の調査

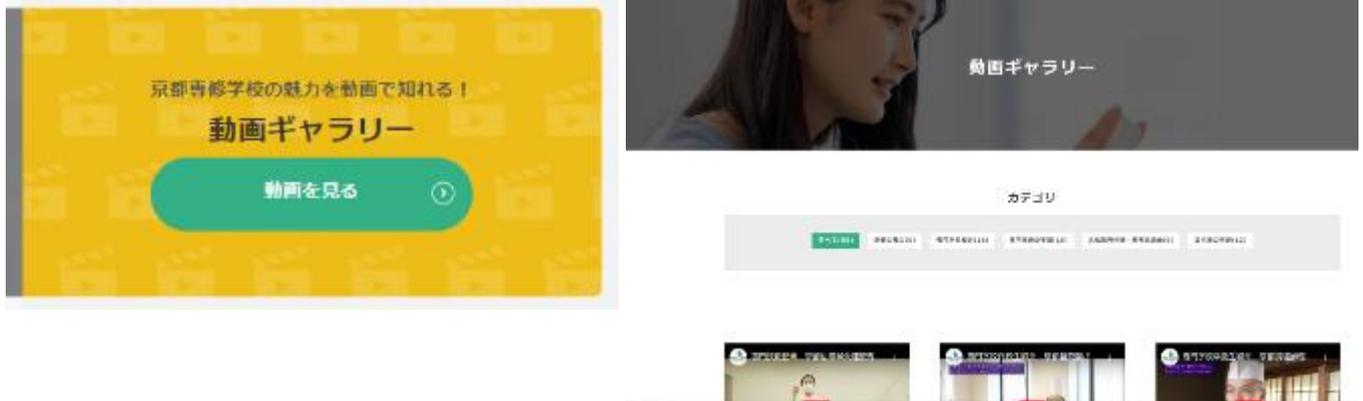
協議事項1. 次年度以降の取り組みについて（説明5分、協議20分）

2. 2. 1ー (入学前) 多言語Webサイトの更新、SNS の運用

京都府下の専修学校を広く国内外に発信し、より多くの外国人留学生が京都を留学先として認知し、各専修学校外国人留学生誘致をサポートとするものとして、また京都で学ぶ留学生が支援サービスの情報を容易に入手できるサイトを充実させた。多言語対応として、日本語のほか、英語・中国語（簡体字）、ベトナム語ページを準備しているが、今年度は、京都おこしやすモデルに関する動画ギャラリーを追加するとともに SNS への導線を強化した。

(ホームページ) <https://kyoto-vsn.or.jp/>

(アクセス数) 44,834 (前年：29,986)



KYOTO Vocational Schools Network Instagram



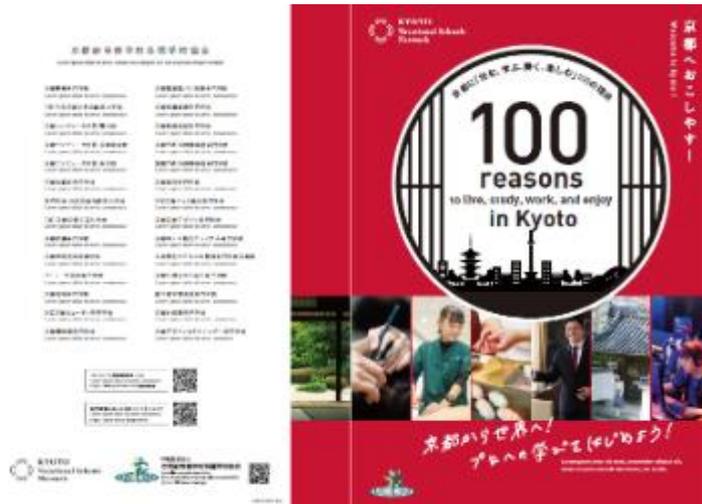
(Instagram) https://www.instagram.com/kyoto_vsn/

(フォロワー数) 226 (前年：なし)



2. 2. 2ー (入学前) 多言語留学パンフレットの制作 (京都で暮らす100の理由)

…京都に住む、学ぶ、働く理由について、インタビュー等を通じて発信するパンフレットを作成した。また、デジタルパンフレットとしても活用できるようデータ化し、より広く発信できるように設えた。

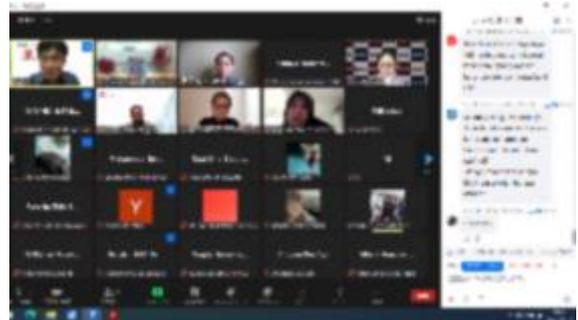


2. 2. 3ー (入学前) オンライン留学フェアへの参加

京都府下の専修学校を広く国外に発信し、より多くの外国人留学生が京都を留学先として認知し、各専修学校外国人留学生誘致をサポートとするものとして、また京都で学ぶ留学生が支援サービスの情報を容易に入手できる留学フェアを実施した。中国、ベトナム、インドネシアとオンラインでつなぎ、各国1回ずつ実施。

- | | | |
|----------|------------------------|---------------------------|
| 【ベトナム】 | 2023/09/16 15:00-17:00 | 参加者： 356名 (3年合計 1,016名) |
| 【インドネシア】 | 2023/11/18 12:00-14:00 | 参加者： 145名 (3年合計 397名) |
| 【中国】 | 2022/11/22 13:00-15:00 | 参加者： 1,336名 (3年合計 8,067名) |

当日の様子



2. 2. 4ー (入学前) 動画の制作

京都府下の専修学校を広く国内外に発信し、より多くの外国人留学生が京都を留学先として認知し、各専修学校外国人留学生誘致をサポートとするものとして、京都で学ぶ留学生が学校情報を入手できる多言語 (日英、日中、日越) テロップ対応の動画を作成。留学生自身がより自身のキャリアデザイン、ライフデザインがしやすいよう、在校生や卒業生から京都や専修学校の魅力等を伝えてもらう内容とした。また、京都ならではの行事や今年度実施した行事開催のレポート動画を通じて、京都の魅力も発信できるようにした。

(YouTube) <https://www.youtube.com/@kyoto-vsn/> (チャンネル登録者数 56人)

教育交流会レポート



京都で暮らす留学生に密着



留学生に聞いた京都で学ぶ魅力



企業が留学生に期待していること

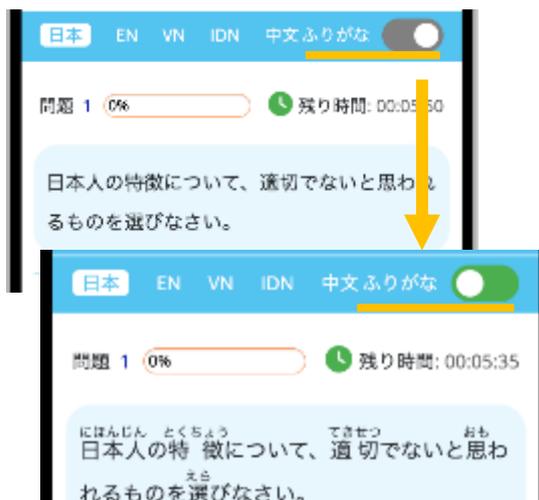


2. 2. 5 - (入学前)「京都留学アプリ」のバージョンアップ

京都府下の専門学校に情報を閲覧できるアプリを開発。今年度はアプリ自体のバージョンアップ等メンテナンスを行い、入学前から在学中、卒業後に至るまで、必要な情報を集約し複数に分散している情報をまとめて提供するワンストップサービスを実現した。

2. 3. 1 - (在学中 教育指導) 遠隔教育システムの構築

京都府下の専門学校に入学を希望する留学生向けに訪日前遠隔教育システムを構築。就職したい留学生を成功に導くアプリとして、オンラインを通じて日本語を学習するためのシステムを導入。日本語能力試験（JLPT）のN3レベルの学習に加え、マナーなど日本での生活や就労に役立つ知識も学べるシステムを活用した。2年間の利用者は100名。



2. 4. 1 - (在学中 在籍管理・生活支援) 各種生活サポート体制の整備

主に京都府下の専門学校、日本語学校、企業を対象に勉強会・ウェビナーを開催した。

第1回京都おこしやすモデルプロジェクト勉強会

日時 2023年9月15日(金) 15:00-16:30

場所 Zoomウェビナー配信

参加人数 43名

主催 一般社団法人京都府専修学校各種学校協会

テーマ 組織が変わる・社会が変わる～留学生雇用の未来～

対象者 留学生の採用に興味がある／積極的な京都府内企業
その他、全国の専門学校・各種学校、日本語教育機関の教職員、
国内での就職を希望する専修学校留学生

内容 基調講演：「留学生を雇用するメリット、外国人採用の展望」

杠 元樹 (株式会社マイナビグローバル代表取締役社長)

パネルディスカッション：「組織が変わる・社会が変わる～留学生雇用の未来～」

杠 元樹 (株式会社マイナビグローバル代表取締役社長)

宿利 保章 (ハイアットリージェンシー京都 人事部長)

シュレスタ インドラ クマル (同 宿泊部)

川島 荘一 (センターフィールド株式会社 総務部 主任)

姚 鑫 (同 開発部)

ファシリテーター：高橋 周二 (当事業推進委員)

当日の様子



第2回京都おこしやすモデルプロジェクト勉強会

日時 2023年11月16日(木) 15:30 ~ 16:30

場所 Zoomウェビナー配信

参加人数 62名

主催 一般社団法人京都府専修学校各種学校協会

テーマ 留学生雇用はじめての一步～在留資格申請業務の実像～

対象者 留学生の採用に興味がある／積極的な京都府内企業
 その他、全国の専門学校・各種学校、日本語教育機関の教職員、
 講師 山田 啓子（京都府行政書士会／申請取次行政書士）

当日の様子



第3回京都おこしやすモデルプロジェクト勉強会（成果報告会）

日時 2024年2月8日（木）14:00～16:00

場所 Zoomウェビナー配信

参加人数 46名

主催 一般社団法人京都府専修学校各種学校協会

テーマ 京都おこしやすモデルプロジェクト成果報告シンポジウム

対象者 留学生の採用に興味がある／積極的な京都府内企業

その他、全国の専門学校・各種学校、日本語教育機関の教職員、

内容 京都府内における専修学校に進学する留学生誘致プロジェクト「京都おこしやすモデル」の成果報告（3年間の総括）を行う。委員からの成果報告に加えて、行政・民間・留学生それぞれの視点からスピーチいただく。

当日の様子



※当協会主催のシンポジウム等参加者は3年間で391名となった。

2. 4. 2- (在学中 在籍管理・生活支援) 留学生教育交流会の実施 (宮津)

直接的・リアルにつながる場として、日本語学校や専門学校の留学生を対象とした教育交流会を実施した。今年度は10月に天橋立のある京都府宮津市にて開催し、32名の留学生(日本語学校および専門学校)が参加した。京都北部地域という普段とは異なる環境で、新たに出会うメンバーとの交流だけでなく、教育イベントとして『京都おこしやすモデル』におけるサポートや専門学校で学ぶことの意義についてのレクチャー、留学生からそれぞれの専門学校に関するプレゼンテーションなどが行われた。専修学校自体や職業教育に対する理解促進につなげた。2年間での留学生教育交流会参加者はのべ68名となった。

当日の様子



2. 4. 3- (在学中 在籍管理・生活支援) 留学生フェアの実施

当事業に関わる取り組みを広く知っていただくため、留学生を主役にしたイベント「Kyo-To Horizon Day」を2024年1月27日に開催(参加8名)。関西エリアに住む外国人や学ぶ留学生にフォーカスし、職業体験や進学相談、専門学校在校生(留学生)との交流の機会を設けた。

当日の様子



2. 4. 4 - (在学中 在籍管理・生活支援) 京都食文化教育事業の実施

京都での留学生生活の満足度向上や、京都での就労時に間接的に役立てることを目的に、交流の輪を広げながら食文化を体験できるプログラムなどを実施する（料理、菓子）。京都の魅力、食文化を肌で体感することで、京都に関する幅広い知識と教養を身につけ、母国と日本との異文化理解にもつなげた。（全5回）

日時	内容	参加人数
2023/08/02（水）	「夏の冷菓」和菓子体験	34名
2023/09/05（火）	「秋のおにぎり」日本料理体験	19名
2023/11/24（金）	「日本のパンとは？」製パン体験	15名
2023/12/20（水）	「京のおせち」日本料理体験	26名
2024/01/25（木）	「お正月の京菓子」和菓子体験	14名

当日の様子

(夏の冷菓)



(秋のおにぎり)



(日本のパンとは?)



(京のおせち)



(お正月の京菓子)



2. 4. 5 - (在学中 在籍管理・生活支援) 京都生活文化教育事業の実施

京都での留学生生活の満足度向上や、京都での就労時に間接的に役立てることを目的に、交流の輪を広げながら伝統文化や伝統産業について学べるプログラムなどを実施する（いけばな、茶道など）。京都の魅力を肌で体感することで、京都に関する幅広い知識と教養を身につけ、母国と日本との異文化理解にもつなげる。

日時	内容	参加人数
2023/09/21 (木)	「Tech の京都を遊ぼう」 株式会社 辻製作所	3名
2023/12/16 (土)	「Zen の京都を学ぼう」 光雲寺 南禅寺禅センター	18名
2024/02/13 (火)	「O-Cha の京都を味わおう」 YUGEN 日本茶専門店	17名

当日の様子

(Tech の京都)



(Zen の京都)



(O-Cha の京都)



※ 2年間の食および生活文化教育事業参加者はのべ 213 名となった。

(2022年：67名+2023年：146名（食文化108名、生活文化38名）)

2. 5. 1 - (調査研究関係) 先行事例の調査 (東京、大分、北海道、沖縄、宮城)

企業や団体の先進的な取り組みから学び、当事業それぞれの取り組みに活かしていくことを目的にインタビュー調査を実施した。各地域の留学生関連事業に関して、実施体制（メンバー、活動の頻度）やそれぞれの取り組み、これまでの成果、課題等のディスカッションを行った。

日時	調査先
9月13日（水）14：00～15：30	公益社団法人東京都専修学校各種学校協会
9月8日（金）9：30～11：00	立命館アジア太平洋大学
11月2日（木）9：30～11：00	東川町立東川日本語学校
11月6日（月）14：00～15：30	一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会
12月4日（月）14：00～16：00	宮城県専修学校各種学校連合会

当日の様子

(東京)



(大分)



(北海道)



(沖縄)



(宮城)



2. 5. 2 - (調査研究関係) 現地視察・教育交流 (マレーシア・シンガポール)

ターゲット国への現地視察を行い、現地での日本語教育プログラムを確認し、留学生の受入推進や教育の充実に向けた取り組みを検討する。また、現地行政や、教育機関との連携協定の締結に向けた交渉を進め、今後も長期的な関係構築につなげる。

日時	調査先
11月20日(月) 10:30~11:30	(マレーシア) JASSO Malaysia
11月20日(月) 14:00~15:30	(マレーシア) 帝京マレーシア日本語学院
11月21日(火) 15:00~16:30	(シンガポール) TMC アカデミー
11月22日(水) 10:00~11:30	(シンガポール) TMIS

当日の様子

(JASSO Malaysia)



(帝京マレーシア日本語学院)



(TMC アカデミー)



(TMIS)



3. 次年度に向けて

今期は、入学前・在学中の取り組みの充実を図るとともに就職に関する取り組みにも注力した。本事業は最終年度となるが、この3年間で京都おこしやすモデルに関わった外国人留学生（希望者含む）はのべ9,869人となった。また、現地視察でターゲット国を訪問し、各教育機関との関係性を構築することもできたため、今後は具体的な成果として連携協定締結や留学生の受け入れにつなげるなど、これまでの成果を次年度以降も活用する所存である。

<成果報告書>

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、《一般社団法人京都府専修学校各種学校協会》が実施した令和5年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の成果をとりまとめたものです。